

中国の「新型挙国体制」下における 新型コロナウイルス感染症対策ガバナンス： 内容・成果とその限界

柳金財

(台湾・佛光大学公共事務学部副教授)

【要約】

本論の目的は中国の「新型挙国体制」の概念、特性、制度的な限界を掘り下げ、中国赤十字会の新型コロナウイルス感染症対策のオペレーションをケーススタディーとしてとりあげ、「新型挙国体制」における非営利組織の自主的な発展とその限界を分析することにある。まず「新型挙国体制」の内容、発展及びそのオペレーション下におけるコロナ対策ガバナンスの特性を検討し、次いで同オペレーション下における新型コロナウイルス感染症対策ガバナンス及びその限界を分析し、更に同オペレーション下において弱体化した非営利組織の発展を論じ、結論を示す。本論は「新型挙国体制」が「諸刃の剣効果」を具えているとの観点に立ち、権力と資源を集中させることで感染症対策ガバナンス効果は有効であったが、権威主義体制の固着化が深まり、公民社会及び第三セクターの社会組織の自主的な発展にはマイナスであると考え。また中国赤十字会は非政府組織だが、実際には「第二の政府」のように、政府組織の附属・出先機関となっている。同オペレーションでは、党の権威主

義体制及び集権化を過度に強調し、非営利組織の自主性やイノベーション的な成長にはマイナスである。

キーワード：新型挙国体制、中国赤十字会、非営利組織、第二政府

一 問題意識と参考文献の検証

1 問題意識の整理

新型コロナウイルス感染症の感染スピードの速さ、感染範囲の広さ、感染症対策の困難さは、中国共産党にとって、政権発足以降、最も深刻な公共衛生案件となり、感染症との戦いは人民戦争、総体戦、狙撃戦と見なされた。「新型挙国体制」は新型コロナウイルス感染症対策を戦いとみなし、「国外からの感染の流入を防ぎ、国内では感染の再燃を防ぐ」方針をとった。中国国内で新型コロナウイルス感染症が猛威をふるい、国外での感染が拡大するのに伴い、海外から持ち込まれる症例が感染拡大の原因となった。「新型挙国体制」は一ヶ月余りで初歩的な感染拡大を制御し、二ヶ月前後で1日当りの新規感染者数を一桁台に抑え込み、三ヶ月目には「武漢防衛戦」、「湖北防衛戦」で決定的な成果を上げ、感染拡大との戦いにおいて大きな戦略的効果を残した¹。直ちにクラスターに対処し、国民の生命の安全と健康を維持したことは、地域及び世界的な公共衛生上の安全保障にとって重要な貢献であった。同時に、経済成長及び社会の安定への打撃を防ぐため、中国国内では段階的な職場復帰・生産再開を推進した²。

中国共産党は「新型挙国体制」であり、これはこれは運動式ガバナンスを進めるための有効的な動員に重きを置く体制である。新型コロナウイルス対策でも「全国一枚岩」でゼロコロナの運動型感染症対策を採り、その政治目的は大きな政治メリットをもたらした。

¹ 董璐「『這份之不易』彰顯中國制度優勢」『新華網』2020年5月11日、http://www.xinhuanet.com/politics/xxjxs/2020-05/11/c_1125963165.htm。

² 張斌「確保疫情防控與復工複產兩不誤」『經濟日報』2020年3月13日、https://theory.gmw.cn/2020-03/13/content_33646018.htm。

こうした一種の融合されたポスト全体主義体制、強靱な権威及び革命教化体制、動員型体制は、党と政府が国家政策推進の中心的役割を担うことを強調するものである³。対内的には、感染者数の少なさによって国家ガバナンスシステムの現代化及びガバナンス力の高さを証明し、党の政権運営能力を示した上で、現代化した社会主義強国を建設するとのビジョンを体現し、政権与党が国民の高い支持を得ているという正当性を獲得し「チャイナドリーム」実現の担い手となった。対外的には、感染者数の少なさは運動式の感染症対策制度、ひいては総体的なガバナンスモデルが、西側の制度よりも優れていることを証明し、中国国民の誇りの源となった⁴。中国共産党は『新型コロナウイルス肺炎を迎え撃った中国行動白書』（『抗擊新冠肺炎疫情的中國行動』白皮書）を發表し、中国式の感染症対策モデル及び制度的優位性を世界に向けて示し、「新型挙国体制」下における感染症対策のガバナンスモデルは、西側モデルを除いて最も成功したとした。例えば、各地から医療関係者が武漢に駆けつけ、火神山医院・雷神山医院を短期間で建設し、感染症対策関連物資を全国規模で一元して配賦し、軍隊が効率よく物資を配送し、数百の医療グループや救護グループを調整して派遣する等した⁵。「新型挙国体制」のオペレーションが見せた感染症対策ガバナンスの成果は、中国第 5 代最高指導者である習近平が提唱する理論・道・制度

³ 張執中「舉國體制：新冠疫情初期中國大陸中央與地方防疫措施之連動」銘傳大學兩岸研究中心、中共研究雜誌、展望與探索雜誌等編『「後新冠疫情下國際與臺海形勢」學術研討會論文集』（新北：中共研究雜誌社、展望與探索雜誌社、2020 年 12 月）、頁 69～87。

⁴ 麥笛文「新冠疫情：多國選擇『與病毒共存』為什麼中國仍堅持『清零』」『BBC 中文網』2021 年 11 月 16 日、<https://www.bbc.com/zhongwen/trad/chinese-news-59288673>。

⁵ 董璐「這份『來之不易』彰顯中國制度優勢」、前掲資料。

・文化の「4つの自信」をうまく体現した。

危機管理の観点からすると、新型コロナウイルス感染症対策は国家管理の範疇に入るもので、専門家制度、責任とコストの分担制度、物資及び生産能力・備蓄戦略の制定、また都市を中心としたガバナンスシステムや緊急管理システムを構築し、基層の社会組織のガバナンス力を高めなければならない。この点から論じると、集権主義やマルクス・レーニン主義の政治体制とその制度的特徴から、集中性・協調性・連続性・効率の良さといったガバナンス上の優位性が認められ、これによって国家制度及びガバナンスシステムの現代化を、現実的なガバナンス効果に全面転換させることができる⁶。感染が確認された中国の各都市の一致した選択は、広範囲に及ぶロックダウン・休業・全市民のPCR検査の実施で、「ピンポイントの感染症対策コントロール」を達成するのは容易ではなく、却って無差別的なコントロールを行う結果となった。中央政府は、地方都市を競争させ合うことで、より効果的に低コストの感染症対策措置を見出そうとしたが、地方政府はいずれもロックダウンを選択し、中央は各地方の役人の責任を厳しく問うた。こうした感染症対策による人道的な災難は、「ゼロコロナ政策」を採ったか否かによるものではなく、「新型挙国体制」が地方の役人に感染症対策に乗じて政治競争をさせたことにあり、医学的な知識不足や乏しい行政能力、昇進や左遷のプレッシャーが露呈した⁷。

中国式の感染症対策は、政権の安定及び社会主義制度の優位性

⁶ 燕繼榮「新冠肺炎疫情防控與中國治理效能」『北京大學中國政治學研究中心網』2020年12月12日、<https://www.rccp.pku.edu.cn/mzyt/124384.htm>。

⁷ 「中國地方官員為何頻頻過度防疫？」『端傳媒』2021年11月18日、<https://theinitium.com/article/20211117-mainland-accountability-officials-covid/>。

のアピールや比較にも関わり、「制度的優位性」、「永遠にして唯一の認められた政権与党」、「国家イメージ」の形成をめぐる対外及び対内向けの大プロパガンダといった政治的意図を含んでいる。つまり、「新型挙国体制」は、全国の資源の整合、集中した動員や配置に基づき、国家の最高利益或いは主導的な利益を目標とする⁸。特に、中国政府は重要な生物科学技術の成果を「国家の重大な任務であり、自国の手でしっかりと掌握しなければならない」と考え、「新型挙国体制」の優位性を発揮し、力を集約して核心的技術の難題に挑むべきとしている。新型コロナウイルス感染症の危機管理を効果的に実施するため、2020年2月14日に「中央全面深化改革委員会」を開催し、深刻な感染症対策コントロールに関する制度的メカニズムを改善し、国家公共衛生の緊急管理システムを健全なものとするため、15のシステム、9つのメカニズム、4つの制度を構築することを打ち出した⁹。

公共の感染状況の危機に迅速に対応するため、感染症対策管理能力をめぐる「新型挙国体制」の強化を通じて、政府の公信力と正当性に対する国民の同意を高める狙いがある。習近平は、生物科学技術は自国で掌握すべきで、挙国体制によって同技術をブレイクスルーすると宣言した。これは、「世界で最も感染症対策物資を供給した国」として、関係する国際標準・規範・ガイドラインの制定に全面的に参与し、「中国の取組み、中国の経験」を共有し、グローバルな公衆衛生ガバナンスシステムにおいて「影響力と発言力」を高

⁸ 鍾富國「中國運用『新型舉國體制』推動半導體研發創新的觀察」『ITIS 智網』2021年9月8日、https://www2.itis.org.tw/netreport/NetReport_Detail.aspx?rpno=659202548。

⁹ 「重大改革！習近平連提15個體系9種機制4項制度」『新華網』2020年2月15日、http://www.xinhuanet.com/politics/xxjxs/2020-02/15/c_1125578387.htm。

め、「人類の衛生、健康の共同体」を共に構築することを目指している¹⁰。

2 参考文献の回顧

中国の国家と社会関係は、「強い政府、弱い社会」の構成に属し、国家が社会の自主性を圧制するため、社会の自主的な組織力は急激に萎縮する。よって、政府が深刻な緊急危機に対処するのが難しい状況になると、自主的な自治社会メカニズムがこの空白を埋めることはできない。新型コロナウイルス感染症が猛威を奮った期間、政府はほぼ全ての感染症対策プロセスを組織する必要がある、商業グループ・非営利組織・慈善団体・教会といった民間の活力を欠いた公民社会が浮き彫りとなった¹¹。「新型挙国体制」によって迅速に資源を動員することはできたが、これに馴化した公民社会は逆に受動的なスタンスに陥った。四川大地震の発生時に、多くの民間組織や個人が積極的に災害支援に参加し、募金をしたり、自主的に組織を作って救援に駆けつけたのとは対象的である¹²。

中国の伝統的な公共危機管理モデルが、予防・処理・善後処理において力不足なことは明らかである。伝統的な意義における公共危機ガバナンスは、政府が中心となって一方的に着手するもので、こうしたガバナンスモデルは緊急事態を迅速にコントロールし、危

¹⁰ 邱國強「習近平：生物科技要自己掌握、用舉國體制突破技術」『中央通訊社』2020年9月15日、<https://www.cna.com.tw/news/acn/202009150315.aspx>。

¹¹ 袁莉「紅會爭議與救援亂象背後、中國公民社會缺位之痛」『紐約時報中文網』2020年2月19日、<https://cn.nytimes.com/china/20200219/china-coronavirus-charity-supplies/zh-hant/>。

¹² 林祖偉、何桂藍「汶川地震十年系列：公民社會從爆發到沉寂的艱難之路」『BBC中文網』2018年5月7日、<https://www.bbc.com/zhongwen/trad/chinese-news-43972586>。

険を緩和する上ではプラスに働き、危機のガバナンス効果に対する支持も高い。しかし、ユニセントリックガバナンスと同じく、全体的に効率化の傾向を呈したり、高度に集権化されるため、民主主義の生存空間が圧迫される結果となる。危機ガバナンスの「効率の価値」と「民主主義の訴求」を整合させるプロセスにおいては、政府と様々な社会グループの主体が共同で参与・協力する整合されたメカニズムを構築することで、民主主義の価値の重要性を示すことができる¹³。これはまた、「新型挙国体制」のオペレーションで欠けている部分とまさに一致する。

河南省陝県の炭鉱事故をケーススタディーとした過去の研究では、地方政府の危機管理プロセスにおけるジレンマを分析しており、各レベルの政府間においては、明確な権利・責任システムによる危機管理ができておらず、平時における危機管理能力の構築を欠いていることが重要な問題だと指摘した。よって、地方政府の鍵となる役割を重視し、中央政府と各レベルの政府間の権利・責任システムを明確にし、政府の危機管理対応力を高め、明確な動機づけシステムを構築する必要がある¹⁴。また、別の研究者は、中国南部のいくつかの省で発生した雪による災害をケーススタディーに、「多中心的理論」を用いて公民、第三セクター、メディアが多元的な協力主体として危機ガバナンスに参与する必要性を分析し、一般の人々が危機ガバナンスに参与する上での様々な制約的要因を掘り下

¹³ 徐峰「公共危機治理中的民主價值重構」『淮陰師範學院學報（哲學社會科學版）』第 32 卷 3 期（2010 年 5 月）、頁 358～361。

¹⁴ 鄭慧、李學「權責體系、日常治理與地方政府危機管理能力建構：基於河南陝縣礦難事件的個案分析」『湖南大學學報（社會科學版）』第 24 卷第 3 期（2010 年 5 月）、頁 66～69。

げた¹⁵。上述の研究はいずれも一つの事実、つまり中国の地方政府と第三セクターが公共危機対応へ参与する上でのジレンマを指摘している。

多元的な主体が共同で構成する公共危機ガバナンスのネットワークにおいても、政府は依然として物資と権力の配分において核心的な主体となる。公共危機ガバナンスのネットワークにおける政府間関係の核心の調整は、つまり、政府を中心とし、各参与主体の権力と責任の配分メカニズムを再編することで、平時の管理と危機の早期警報、回復段階における権力の共有、リスク分担と集中した政策決定、指揮の統一と併存する権力配置枠組みを形成することである¹⁶。公共の危機は元来、突発性、緊迫性、危険性、不確定性及び社会への影響の拡散といった特性を具えており、政府を中心とした単一のガバナンスモデルでこうしたチャレンジに対応するのは困難で、政府主導の多中心的ガバナンスモデルを採っていくことが不可避な趨勢となっている。多中心的ガバナンスモデルの下では、政府は非営利組織の発展を支え、公共の危機に対し、政府と非営利組織の良好な関係によって共同のガバナンスを実現する¹⁷。

実際、公共危機のガバナンスにおいては、伝統的な政府を中心にした一つのガバナンスメカニズムには様々な欠陥がある。政府単独の力に依存するだけでは不十分であるため、複合的なガバナンスを行うべきで、縦割り行政を打破し、政府のガバナンス力を向上さ

¹⁵ 吳靈「多中心理論視角下的危機治理」『重慶科技學院學報（社會科學版）』第5期（2009年5月）、頁67～68。

¹⁶ 劉霞、嚴曉「公共危機治理網絡視閥下的政府間關係」『雲南社會科學』第6期（2009年11月）、頁28～32。

¹⁷ 朱媛媛「論非營利組織在公共危機治理中的作用」『淮海工學院學報（社會科學版）』第10卷14期（2012年7月）、頁97～100。

せなければならず、また第三セクターを積極的に育成・発展させ、その複合的なガバナンスの中で役割を発揮させる必要がある¹⁸。これは「新型挙国体制」が政府を中心とした単一のガバナンスを重視する傾向にある以上、その欠陥もまた第三セクターの協力の欠如にあることを示している。厳格に言えば、現在の中国政府の危機対応は、「管理」のレベルにとどまり、「ガバナンス」のレベルには達しておらず、公共部門、非政府組織、民間、コミュニティーを単元とする国民個人や家庭、国際組織を主体とし、危険要素に対しあらゆる段階で应急管理できる危機ガバナンスネットワークを構築する必要がある。同時に、国家の緊急対応枠組みの制定を応急行動の最高戦略計画とし、コンティンジェンシープランや行動戦略に共同で取り組み、既存のコンティンジェンシープランシステム、危機ガバナンスネットワークの行動基礎及び中心的な機構を整合し、危機ガバナンスネットワークの制度的枠組みや応急対応プラットフォームの構築を整備することも求められる¹⁹。

本論の主旨は、「新型挙国体制」の概念や内容、特性及び制度的な限界を掘り下げ、新型コロナウイルス感染症対策における中国赤十字のオペレーションをケーススタディとして検討することにある。本論のポイントは 3 点あり、1 つ目は「新型挙国体制」の概念や内容、及び新型コロナ感染症をめぐるガバナンスの発展的特徴、2 つ目は「新型挙国体制」下における新型コロナウイルス感染症をめぐるガバナンスの限界に関する分析、3 つ目は武漢赤十字会をケ

¹⁸ 周曉麗「論公共危機的複合治理」『長春市委黨校學報』第 3 期（2006 年 6 月）、頁 59～62。

¹⁹ 劉霞、向良雲、嚴曉「公共危機治理網絡：框架與戰略」『軟科學』第 23 卷 4 期（2009 年 4 月）、頁 1～6。

ースタディーとした「新型挙国体制」下における弱体化した非営利組織の発展の分析である。本論の初歩的な研究では、「新型挙国体制」のオペレーションは「諸刃の剣効果」を具え、その積極性が権力と資源を集中させたことで、感染症のガバナンス効果は有効に高まったが、その消極性は権威主義体制の固着化を深め、中国の公民社会及び第三セクターの発展にとってはマイナスになると結論づけた。中国赤十字会は組織の形式上は非政府組織に属するが、実際は政府組織の附属機関・出先機構であって、まさに「第二政府」である。「新型挙国体制」のオペレーションは、中国共産党の権威主義統治及び集権化を強調するため、自主的かつイノベーティブな非営利組織の発展には寄与しないと指摘する。

二 新型挙国体制下の新型コロナウイルス感染症対策ガバナンスの内容と特徴

1 新型挙国体制の概念の提起及びその内容

中国共産党が、党が重視する偉大な目的のために力を集約させる「新型挙国体制」を提唱して以降、その概念と内容には一連の繋がりがあがる。新型コロナウイルス感染症との戦いの中で、2020年3月2日、習近平は「一つの軍」（軍事医学研究院）、「一つの場所」（清華大学医学院）を視察し、同感染症対策は科学技術が挑むべき難題であるとの認識を踏まえ、「国家全体の安全保障の重要な分野に関わり、核心的な技術の難題に挑むためには、『新型挙国体制』の強化と整備が必要である」と強調した²⁰。同年5月14日に

²⁰ 清華大學教育基金會「習近平考察調研清華大學新冠肺炎防控科研攻關工作」『清華大學新聞網』2020年3月2日、<http://www.tuef.tsinghua.edu.cn/info/xwdt/4107>。

開催した政治局常任委員会では、「『新型挙国体制』の優位性を發揮し、科学技術のイノベーションや技術の難題への挑戦を強化し、重要な一環、重要な分野、重要な産品を保障する力を強化しなければならない」と指摘した²¹。実際、いわゆる「新型挙国体制」という文言は、習近平が 2019 年 2 月 20 日に行われた月面探査機「嫦娥 4 号」プロジェクト研究・実験参加者の代表と会見した際に初めて用いられており、「自主的なイノベーション、共同のイノベーション、イノベーション能力の開放を堅持し、月の裏側の探索を世界で初めて実現し、率先して月面に中国の足跡を刻んだ。これはまた『新型挙国体制』構築を模索する中での一つの生き活きとした実践である」と述べた²²。

その後、2019 年 10 月 28 日～31 日に開催された中国共産党第 19 期中央委員会四中全会において、『中国の特色ある社会主義制度の堅持・改善及び国家管理システムとガバナンス力の現代化促進に関するいくつかの重要な問題に対する中国共産党中央委員会の決定』を採択し、経済のハイクオリティな発展、国家の安全保障、「中国統治モデル」の新境地の開拓のため、「社会主義市場経済の条件の下、鍵となる核心的技術に取り組むための『新型挙国体制』を構築する」との戦略計画を正式に打ち出した²³。いわゆる「新型挙国体制」は、主に科学技術発展の空白に対する構想であり、国家を動

²¹ 新華社「中央政治局常委會：要發揮新型舉國體制優勢、加強科技創新和技術攻關」『第一財經網』2020 年 5 月 14 日、<https://www.yicai.com/news/100629979.html>。

²² 于鵬飛「習近平會見探月工程嫦娥四號任務參研參試人員代表」『央視新聞』2019 年 2 月 20 日、<https://news.sina.com.cn/c/xl/2019-02-20/doc-ihrfqzka7632727.shtml>。

²³ 中央黨校（國家行政學院）習近平新時代中國特色社會主義思想研究中心「完善關鍵核心技術攻關的新型舉國體制」『光明日報』2020 年 3 月 20 日、<http://theory.people.com.cn/BIG5/n1/2020/0320/c40531-31640512.html>。

員して資源を集中させ、一丸となって発展の弱点やジレンマを早急に克服することを目指している。その内容と精神は、体制やメカニズムにおいて科学技術イノベーションと緊急対応力を増強させ、課題を解決する鍵となる核心的技術を早急に構築することを意味している²⁴。これは国家の全体的な調整に関わり、集中して優位に「殲滅戦」を展開し、限られた資源を集中させて困難を克服し、メカニズム的な優位性を基礎に、国が科学技術イノベーションを推進するものである²⁵。

「新型挙国体制」は伝統的な挙国体制の優位性を継承した基礎の上でイノベーション力を発揮させるもので、その本質は制度のイノベーションであり、その基礎の上に新たな制度的枠組みを形成する。同時に、政府には指導的役割を発揮させ、市場には資源配分における決定的な役割を発揮させることにある。科学技術イノベーションは、分業・協力を強調しており、産官学の緊密な連携を重視し、そこから共同のイノベーションの開放を目指している。ビッグデータ・人工知能・IOTといった指標となる新興技術の発展によって、挙国体制が広い空間やプラットフォームを提供できるようにする。中国共産党が推進する感染症対策をめぐる科学技術の難題への挑戦は、国家の重要緊急任務に位置づけられ、偉大な目的のために力を集約させる優位性を発揮して、党の指導を堅持し、大学・科学技術研究所・企業等の積極性を生かし、科学技術の難題への挑戦や

²⁴ 劉垠「新型舉國體制『新』意何在：專家詳解習近平總書記有關重要指示精神」『科技日報』2020年5月18日、<http://scitech.people.com.cn/BIG5/n1/2020/0518/c1007-31712918.html>。

²⁵ 吳怡「中國再出發 對話樊綱：善用新型舉國體制、打好科技創新『殲滅戰』」『澎湃新聞』2021年12月25日、https://m.thepaper.cn/newsDetail_forward_15995861。

臨床・感染症対策の実践を相互に結びつけることを重視する。また深刻な緊急危機の難題に挑戦する組織システム、科学技術プラットフォーム、制度システム、資源の統合、イノベーションへの資源投入の拡大といった整備の優位性によって、全体的なイノベーションシステム力を形成し、自主的なイノベーション力を向上させる²⁶。

2020年11月3日に開催された中国共産党第19期中央委員会五中全会は「第14次五カ年計画」を発表し、「健全な社会主義市場経済の条件の下の新型挙国体制」を提起した。2020年12月中旬に開かれた中央経済工作会議では、「新型挙国体制の優位性を発揮すべき」とし、「鍵となる核心的技術が難題に挑む新型挙国体制を整備する」と強調した。基本的に「新型挙国体制」とは、国家の発展と国家利益を帰すべき根幹とし、様々な重要な任務を克服したり、完成させることを主要な目標として、突発的な発展やクロスボーダーに進歩する独特の体制を実現すべく、全国各方面の人材・モノ・財を集中させることである²⁷。

2 新型挙国体制下における新型コロナウイルス感染症対策ガバナンスの特徴

新型コロナウイルス感染症ワクチンを積極的に研究開発した中国の成果は、最高指導者の鞭撻の中で、急ピッチに研究開発させた結果だと言える。習近平は、重大な疾病の感染症対策において中医学・漢方薬の役割を発揮させるべきだとし、「西洋医学と中医学の

²⁶ 聶曉偉「疫情防控科研關發揮好新型舉國體制作用」『學習時報』2020年3月11日、https://www.cas.cn/zt/sszt/kjgzbd/zjsd/202003/t20200311_4737378.shtml。

²⁷ 何虎生「發揮新型舉國體制優勢」『學習時報』2021年5月20日、<http://newera.ruc.edu.cn/ktcg/bkwz/ae568261616947608cddb00212b6344e.htm>。

融合、西洋薬と漢方薬の併用」が感染症対策の特徴であると強調した。また、「早期モニタリング・警戒予報能力」を増強し、公共衛生システムを整備し、「ハイレベルな公共衛生学院」を建設するとした。クラス・レベル・流れに応じた感染症救急メカニズムを整備し、国家の医学センター、地域医療センター等の基礎インフラを強化し、深刻な感染症の救急能力を向上させ、また、「愛国衛生運動」を展開する。同時に、「ヘルスケアとグリーンエコ」の生活スタイルを強調し、ヘルスケア分野への科学技術の投入を拡大し、新型「挙国体制」の優位性を発揮し、核心的技術の難題への挑戦に力を集中させる。加えて、深刻な疾病の感染症対策への経費投入を引き続き拡大し、生命科学、バイオ技術、医薬・衛生、医療設備投資等の分野の弱点を早急に補っていくことを目指している²⁸。

まず、政府はトップダウン、戦略的計画、政策制定と市場の指導において重要な役割を発揮する。「新型挙国体制」は国家の発展と国家の安全保障を根本的な目標とし、科学の統一、力の集約、メカニズムの優位化、難題への共同の挑戦を通じて、国が重大な科学技術に関連する組織を運営する中で、協調して資源を配分し、資源の効果を有効に発揮させる。同時に、資源の配分においても、市場メカニズムと関連付けて決定的な役割をもたせ、政府と市場がそれぞれの優位性を発揮できるようにし、政府と市場の協力によってイノベーション力を合わせられるようにする。中央政府に感染症対策の作業指導グループを成立させ、指導・指揮を統一すると共に、個別に指導し、全面的に配置する。国務院による共同対策業務メカニズムの統一的な計画の下、科学技術の難題解決の取組においては、病原学・疫学、技術と製品のテスト、治療薬と臨床救急、ワクチンの研

²⁸ 邱國強「習近平：生物科技要自己掌握、用舉國體制突破技術」、前掲資料。

究開発、動物実験モデルの構築の確立が目指すべき 5 つの方向となっている²⁹。「新型挙国体制」の核心は即ち、政府の指導、市場の指導、社会の協調の三者間がそれぞれに役割を發揮し、感染症対策と職場復帰・生産再開を体現することである。

次に、効果的な感染拡大との戦いを通じて、制度的優位性をガバナンス効果に転換することである。新型コロナウイルス感染症との対峙において、科学技術は重要な役割を發揮しており、党が力を集約して重要な事案に取り組む制度的優位性は明らかである³⁰。国は、戦略的任務にかかる政策決定メカニズムの構築にフォーカスする際に乗じて、社会資源統合の最大化を図り、公共衛生安全保障分野の科学技術研究システムの過度な分散と、統一されたイデオロギーや一枚岩の思想の確立が欠如している状況を改善しようとしている。また、資源配分において、市場は決定的な役割を担うことができず、党に集中した強い政策決定力、組織の動員力、統一した協調力を發揮し、あらゆる社会資源と人材を統合することで、経済・社会発展の活力とエネルギーを高め、鍵となる核心的な科学技術の難題に早急に挑み、政治的優位性、共同の優位性、価値の優位性、戦略的優位性を含む発展の新たな優位性を全面的に形作れるようにする³¹。この中国共産党の指導と中国社会主義制度の顕著な政治的優位性は明らかで、党がアピールしている「制度的優位性」には、「中国共産党の集中的・統一的指導、総体的利益の最優先、人民を主体とした地位の堅持、社会動員力の強さ、法に基づく統治」

²⁹ 中央黨校（國家行政學院）習近平新時代中國特色社會主義思想研究中心「完善關鍵核心技術攻關的新型舉國體制」、前掲資料。

³⁰ 劉垠「新型舉國體制『新』意何在：專家詳解習近平總書記有關重要指示精神」、前掲資料。

³¹ 何虎生「發揮新型舉國體制優勢」、前掲資料。

が含まれ、その鍵は即ち、中国共産党の集中的・統一的指導にある³²。

次に、感染症対策にかかる科学技術研究の難題への挑戦を重要な任務とする組織モデルの構築が挙げられる。科学技術イノベーションの分野や新たな課題に対し、「新型挙国体制」に効果的に優位性を発揮させ、総合的なイノベーション力を向上させ、鍵となる核心的技術の難題への挑戦の任務を達成させる。同体制は、国家の重要な科学技術イノベーション戦略、目標の精査、社会動員の実施、資源配分機能・市場の動機づけシステムの運用を統合し、政府・科学技術研究機構・企業等の積極的な参与を働きかけ、重大な科学技術イノベーションをブレイクスルーさせる運用メカニズムを実現する³³。中国共産党政府が集中的・指導的・統一的な指導を行う中、「核技術および宇宙技術の同時開発プロジェクト」、「有人宇宙飛行」、「大型プロジェクト」といった重要任務の組織モデルを参考に、行政部門・地方政府・科学技術研究機構・大学や企業の官産学連携で資源をまとめあげ、「戦時の管理」に基づいて、様々な主体の任務遂行を推進する。同体制は独特の優位性を具えており、ニーズ・問題や任務の方向性をより明晰し、組織の任務をより強化する。また、資源については高い統合力を具えており、迅速かつ効果的に各分野の優位な力を配分し、局所的な利益や短期利益といった争いをもろともせず、各部門の「縦割り」、「横割り」の本位主義

³² 「武漢一週年：新冠疫情受控背後中國的『制度優勢』與個體代價」『BBC 中文網』2020年12月29日、<https://www.bbc.com/zhongwen/trad/chinese-news-55446341>。

³³ 何立勝「健全新型舉國體制提升創新能力」『經濟日報』2021年1月19日、<http://theory.people.com.cn/BIG5/n1/2021/0119/c40531-32003866.html>。

や行政の障壁を突破する³⁴。

最後は、難題な感染症対策に取り組む、あらゆる科学技術研究のシステム統合である。中央と地方の資源を一元化し、産官学がそれぞれ積極的に参与し、様々な学部が交流・融合する優位性を生かして、共同でその力を発揮させる。医療機関と疾病部門が、科学技術の難題解決に挑戦する実践的な価値の実現によって、科学技術研究機構や大学が鍵となる科学技術の解決において役割を發揮し、企業は市場主体・技術イノベーション主体として役割を發揮する。またそれぞれにおいて、臨床・基礎及び公衆衛生データを共有する統合メカニズムや文化を確立し、重大な感染症の発生・発見・確定・治療に関する、システム的で統合された一連の研究体制を共に構築する。国際協力も積極的に推進し、新型コロナウイルス感染症に対応するため、人類運命共同体の構築という高いアングルから、国際組織・科学技術研究機構・各部門と緊密で広範に連携する国際科学技術協力の枠組みを構築し、共に戦う³⁵。

三 新型挙国体制下における新型コロナウイルス感染症対策ガバナンスの特徴及びその限界

中国の挙国体制は官僚体制を組織の基礎とし、各ランクが明確に区切られた組織制度で、等級制度、トップダウンの通達、指示・報告の規定、情報伝達チャンネル等がある。挙国体制は、大きなエネルギーと効率の良さを具えているため、資源を集中して効率よく社会問題に対処できる。感染症の救援過程では、全国各地からの医療

³⁴ 聶曉偉「疫情防控科研攻關發揮好新型舉國體制作用」、前掲資料。

³⁵ 侯露露、任皓宇「以人類命運共同體理念促進全球抗疫合作」『人民網』2020年5月19日、<http://ydyt.people.com.cn/BIG5/n1/2020/0519/c411837-31714669.html>。

資源で武漢を支援し、国は全国各地の優位性ある資源を集約した。ロックダウンや都市封鎖による管理、交通規制、出勤時間の調節によって、全国各地で隔離・移動をコントロールし、挙国体制は蔓延防止の目標を効果的に達成した。同体制は、中国社会の「集団主義」からきており、政治文化においては「個人より集団を優先」し、「個人は集団に服従すべき」という崇高な「価値観」を具えている。「新型挙国体制」は国家が緊急事態や深刻な突発的事故に見舞われた際の「ガバナンス」メカニズムで、組織の形式及びメカニズムの運用には特徴や様々な限界がある³⁶。

まず、権威主義体制の固着化と権力の集中化が指摘できる。「新型挙国体制」は感染症の危機に効果的に対処し、強い政府は、感染症対策において、有効に動員することができた。挙国体制は下から上への情報収集と報告、各ランクの役人の主体性において、専門的な精神を養成し、民間組織の積極的な役割を低下させた。仮に挙国体制が感染症対策ガバナンスに対して成果・効果を上げた場合、同体制に対する中国共産党のイメージは強化され、中国の政治体制はさらに権威主義体制及び集中した権力体制へと傾き、民主主義ガバナンスは逆に崩壊する。2020年1月25日に開かれた政治局常務委員会では、感染症対策指導グループを発足させ、李克強・国務院総理をリーダーに任命することを決定した。中央レベルの感染症対策指導グループは総理が指揮をとったが、各地方の感染症対策指導機関は、ほぼ省の党委員書記が指揮をとっている³⁷。

³⁶ 楊開煌「『新型コロナウイルス』vs.『新型舉國體制』」『海峽評論』352期（2020年4月）、頁18～22。

³⁷ 李晶「中央應對新型冠狀病毒感染肺炎疫情防控工作領導小組會議召開」『新華社』2020年1月27日、http://www.mod.gov.cn/big5/topnews/2020-01/27/content_4859098.htm。

湖北省委員書記の蔣超良は、省の新型コロナウイルス感染症対策指揮部の指揮長を兼任していたが、習近平はこの感染症との戦いは、「自ら配置し、自ら指揮する」と宣言し、孫春蘭副総理が率いる中央の指導グループを年初から湖北に駐留させた³⁸。習近平政権以降、「指導グループ」や「委員会」の設置、機関の改革を通じて、国务院の職権を制約し、関連する指導グループ・委員会は習近平の指導とし、習近平を政策決定の最高責任者・最終決定者としてきた。感染症対策グループのメンバー構成を分析しても、広報責任者として王滬寧・政治局常務委員が副グループ長となっているほか、黃坤明・党中央宣傳部長・政治局委員がメンバー入りしていることから、感染症対策期間も世論統制を強化しているのは明らかで、「公開・透明」を成し遂げるのは難しい³⁹。

次に、体制の強さ故に、政策決定が遅く、後手後手であることが挙げられる。強い政治的圧力の下、役人はますます小心翼翼として、全てにおいて指示待ちとなり、自主性は制約され、形式主義的な行動を採っている。これは、体制が強くなればなるほど、政府の役人の判断や政策決定はますます制約を受けることを示している。関係が深い政府組織が災害危機対応に常に有利というわけではなく、例えば中華人民共和國大飢饉（3 年大飢饉）も物資不足が原因ではなく、強い政府による政策の失敗が原因であって、厳しいコントロールと情報統制によって不適切な資源配分となった結果である。コロナの蔓延開始時期において、地方の感染状況の判断は完全

³⁸ 孫春蘭「深入貫徹習近平總書記重要指示精神、全面加强疫情防第一線工作指導督導」『求是』2020 年 4 月 1 日、http://www.gov.cn/guowuyuan/2020-04/01/content_5497826.htm。

³⁹ 時方「李克強首開應對疫情領導小組會泄多個秘密」『阿波羅新聞網』2020 年 1 月 27 日、<https://tw.aboluowang.com/2020/0127/1401545.html>。

に中央の影響を受け、積極的で主体的な、迅速な対応ができなかった⁴⁰。強い体制は往々にして下から上への情報の流れを困難なものとするため、政策決定過程も遅れてしまう。

2020年2月15日、中国共産党の機関紙『求是』は、習近平が2月3日の政治局常務委員会で行った談話、即ち「1月7日、私は政治局常務委員会を主宰した時、新型コロナウイルス感染症対策・制御業務に対して要求を示した」、「1月20日、新型コロナウイルス感染症の発生をしっかりと重視し、全力を上げて阻止・制御するよう、各レベルの党委員会・政府及び関連部門に対し、国民の生命の安全と身体の健康を最優先するように求め、感染症対策・制御業務につき明確な指示を出した」、「1月22日、急速な感染拡大、並びに感染拡大防止の難しさを踏まえ、湖北省に対し住民らの移動を全面的に厳しく統制するよう明白に要請した」と掲載した⁴¹。こうした論調は、中央が地方の党・政治機関に責任を押し付け、地方から中央への報告ルートも必ずしもスムーズではなく、中央に集中した政権運営も対応が遅く、その結果、感染症の制御が困難になったと受け止められた⁴²。挙国体制がますます強く、柔軟さを欠くようになると、その政策決定は更に遅く、後手後手となる。

次に、地方ガバナンスが自主性やイノベーション性を欠いている点が指摘できる。強い挙国体制によって、地方の役人は忠実に指

⁴⁰ 柳金財「新冠疫情下中國大陸地方治理變異：以大理徵用重慶口罩為例」『展望與探索』第18卷第9期（2020年9月）、頁61～75。

⁴¹ 「習近平在中央政治局常委會議研究應對新型冠狀病毒肺炎疫情工作時的講話」『求是』2020年2月15日、<http://cpc.people.com.cn/BIG5/n1/2020/0215/c64094-31588554.html>。

⁴² 柳金財「新冠疫情下中國大陸地方治理變異：以大理徵用重慶口罩為例」、前掲資料。

令に従うため、自主性やイノベーションな地方ガバナンスではなくなる。「ゼロコロナ政策」を諦めないとの前提の下、運動式の感染症対策によって迅速に資源を集中させることができるが、コロナ対策で力の及ばない者は、圧力型体制の「一票否決制」に直面するため、各地方政府もまたゼロコロナ政策を打ち出して、厳格な自己保身戦略を採る⁴³。よって、武漢は自己主張したり、当該行政区域の感染症情報を勝手に公表する権利もない。中国共産党の党紀と国の法律規範の下では、感染症情報を公表する権利は武漢の首長や医療の専門家にはなく、国務院衛生行政部門によって授権されるか、湖北省政府にある⁴⁴。これはつまり、周先旺・武漢市長が中央から授権されない状況下では、単独で感染状況を公表できないことを意味する。こうした強さと紀律による制約のため、地方の役人はキャリア、昇進や左遷のリスクに鑑み、とりわけ重要な問題については上司の具体的な指示を仰ぐことから、ランクの低い部署や地方は往々にして積極性や主体性を失う⁴⁵。

加えて、政策決定において専門家が鍵となる役割を担えていないことがある。中国政府はネットのコントロールを強化し、また、感染症対策の困難さが高まったため、感染症が発生した初期段階には、自身の医学生時代の同級生とのグループチャットで新型コロナウイルス感染症を疑われる症例の診断を公開した李文亮医師を検挙

⁴³ 八猫「清零政治化：為何防疫手段越高超、中國的防疫管理却越粗暴」『端傳媒』2021年11月18日、<https://theinitium.com/article/20211118-opinion-china-local-government-variation/>。

⁴⁴ 趙宏「法治的細節『未經授權不得披露』背後的信息公開制度與問題」『澎湃新聞』2020年1月31日、<https://j.eastday.com/p/1580453284016517>。

⁴⁵ 羅四鴿「周雪光專訪：新冠疫情暴露『剛性』體制弊端」『BBC 中文網』2020年3月3日、<https://www.bbc.com/zhongwen/trad/chinese-news-51703169>。

した。チャット記録が公開されると、李文亮医師は「デマ」を流布したとして当局に召喚され、処分されて「反省文」に署名させられた。これは「新型挙国体制」が SNS 上の言論の自由の空間を制限し、圧力をかけて制御していることを明らかに示している。新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中、社会全体・各業界のみならず、専門的組織でさえも官僚主義化し、力のある専門家や技術官僚が政策決定過程に参加できていない。官僚体制の中で参加している専門家もいるが、長期的に政治の優勢を強調し、専門的な精神を積極的に奨励・育成してこなかったため、専門家組織もまた官僚主義化のプロセスを歩み、政治的ロジックが専門的ロジックを凌駕している⁴⁶。

最後に、生産組織の目標と代替機能のジレンマがある。突発的な事件に対処する際、不確定さが高い情報はより迅速な対応を求められるが、集権体制は反応が遅く、独断的な政策決定であるため、土地柄に合わせて適切な措置をとったり、柔軟に対処することが難しく、目標と代替機能が相容れないという問題が生じやすい。資源を動員して一つの目標を達成しようとする際、その他の目標は軽視される。中国は早い段階で感染症に関する国家報告システムを立ち上げたが、その機能は発揮されておらず、危機管理と政府管理体制は改善の必要がある。「新型挙国体制」は、政府に強い社会動員力を与え、政府が確立する重点発展目標の実現にはメリットがあるが、政府と市場の連携には衝突のリスクをもたらす。例えば、各地域・各部門が一つずつ積み重ね、全方位の強く有力な政策動機づけシステムを形成すると、資本が短期利益の追求と相互に刺激しあうよう

⁴⁶ 同上。

になり、資源を誤った場所に配分しやすくなる⁴⁷。

感染症の発生初期段階においては、報告システムに混乱が生じたり、情報が不透明等といった問題があったが、米国・英国等の西側諸国と比較しても、中国のマスク着用義務、強制検査、ロックダウン、隔離、濃厚接触者の追跡といった一連の措置は、十分な抑止力を発揮できておらず、中央政府は感染状況が深刻な地域への医療資源の支援を随時調整している。「新型挙国体制」は、効果的に社会資源を動員するが、必ずしも中国共産党の高い集権体制がガバナンス効果を発揮したり、西側の民主主義体制より優越しているわけではない。これは集権体制の弊害を明らかにするもので、即ち馴化した公民社会はすでに中国共産党にコントロールされており、感染症が初期段階で中国国内で完全にコントロールできていれば、同体制は有効的であるとみなすことはできた。しかしながら、同体制は透明さを欠き、隠蔽も深刻なため、中国共産党体制内における公民社会の「ガバナンスの欠如」という欠陥を反映することとなった。その国力は非常に強大で、党が重視する偉大な目的のために力を集約させる能力も非常に強いが、自身を振り返ったり、省みる能力は比較的弱い⁴⁸。

四 新型挙国体制下における非営利組織の弱体化：武漢赤十字会を例に

1 「第二政府」機構の性質を具える中国赤十字会

2020年、新型コロナウイルス感染症が発生して間もない頃、中国赤十字会は感染症対策に参加し、組織を動員した。39万人の志

⁴⁷ 何立勝「健全新型舉國體制提升創新能力」、前掲資料。

⁴⁸ 張潔平「極權中國、防疫為何失靈？病毒肆虐背後、中共的謊言與失能」『天下雜誌』第 691 期（2020 年 2 月 10 日）、<https://www.cw.com.tw/article/5098914>。

願者が社区に入り、健康観察、各家庭へのローラー作戦、困難者のサポート等のボランティア活動を行い、累計750万人、活動時間は7100万時間超と、組織としての赤十字ボランティア活動の動員としては最大規模だった。戦時の応急作業メカニズムを構築し、支援物資の迅速な発送を実現し、短期間で支援物資を感染症対策の第一線の部門に送り、支援物資は主に湖北・武漢で使用された⁴⁹。新型コロナの蔓延による武漢のロックダウン後には、様々な問題が生じたが、患者の救護や支援物資の配賦等においては、民間組織が積極的かつ効果的に参与することはなかった。中国共産党は村民による自治や、住民による自治といった基層の自治組織を動員したが、基本的にはいずれも高度に「行政に附属した」近隣同士の相互扶助活動であった。実際、中国政府の力では、深刻な感染状況や政策決定が招いた様々な問題を完全に解決することは難しく、社会組織が政府機能の欠陥を補完することができないため、感染症をめぐるガバナンス効果を有効に向上させるには至らなかった⁵⁰。

赤十字会は名義的には全国規模の国民衛生救護団体、社会福利団体であるが、実際には長らく国家衛生部と合同で業務にあたっている。1999年に中国赤十字会は改革され、中国共産党中央機構編成委員会事務所の通知に基づき、「中国赤十字会総会は衛生部の代理管理から国务院の指導とする」とされ、依然として「第二政府」機構の性質を脱していない⁵¹。このため、湖北赤十字会もまた、湖北省衛生庁による代理管理から湖北省省政府分館による指導となり、

⁴⁹ 「中国紅十字會 2020 年動員逾 39 萬志願者助力疫情防控」『中國新聞網』2021 年 2 月 5 日、<https://www.chinanews.com.cn/gn/2021/02-05/9405796.shtml>。

⁵⁰ 袁莉「紅會爭議與救援亂象背後、中國公民社會缺位之痛」、前掲資料。

⁵¹ 穆堯「近思錄：『惡貫滿盈』紅十字會 為什麼屹立不倒？」『香港 01』2020 年 2 月 3 日、<https://www.hk01.com/>。

その会長は同分館の副省長が兼任している。赤十字会定款規定からすると、そのスタッフは中国共産党の政治家・軍人・公務員にならった待遇とし、中国共産主義青年団・中華全国婦人連合会・中国文学芸術会連合会と同様に高度に官僚システム化されているという特徴があり、よってスタッフも国家監察委員会・中央規律検査委員会の監督対象となっている。

近年、中国赤十字会はそのオペレーションにおいて、組織管理メカニズムシステムの行政化、一方的な情報公開メカニズムシステム、対外連絡メカニズムシステムの閉鎖化などが不整備なままのガバナンスシステム上の問題を抱えている。同時に、ガバナンス力においても、科学的根拠を欠いた政策決定、情報化レベルの低さ、専門性を欠く資金管理といったガバナンス力の弱体化問題もある⁵²。

「新型拳国体制」は、重視する偉大な目的のために力を集約させることを掲げており、武漢赤十字会による支援物資の配分もまた、集中した取りまとめを行い配分のロジックを採用したため、全国各地に寄せられた支援物資はすべて赤十字会を通じて配分されなければならなかった。しかし、武漢赤十字会の組織構造は大規模救援活動を想定してデザインされておらず、そのオペレーション手続き、規則、メカニズム、モデルのいずれも、元々は高度に行政化された官僚組織である。迅速な対応が求められる感染症危機対応では、経験不足や人材不足に直面し、大量の支援物資を有効に配賦することは難しい⁵³。

⁵² 郭輝、楊喬強「我國紅十字會治理體系和治理能力之現代化」『保定學院學報』第 34 卷第 2 期（2021 年 3 月）、頁 68～72。

⁵³ 曾玉婷「中國紅十字會引爆民怨：防疫物資流向不明、前綫醫護公開求援」『臺灣公民對話協會網』2020 年 6 月 18 日、<https://rightplus.org/2020/06/18/china-red-cross-org/>。

2 新型コロナウイルス感染症対策における非営利組織の不在

中国政府は深刻な新型コロナウイルス感染症に直面し、ロックダウンや10日間の工期による病院建設、交通管制を行い、政府に高い動員力があることを示したが、同時に公民社会や非政府組織の参与不足や無規範状態のジレンマも露呈し、公共の危機管理が「トップダウン」モデルであることも明らかとなった。感染症対策において、公民団体や商業団体、非営利組織、慈善機構、宗教団体等が参加できず、政府と民間が効果的に協力することが難しく、このため感染症対策ガバナンス効果が低下した⁵⁴。感染症対策においては、蔓延が深刻な地域に地方からの救援物資が届かなかつたほか、赤十字会湖北省分会が物資配分を遮断していることも暴露された。赤十字会武漢分会は、寄贈された医療物資を倉庫に保管しているどころか、感染症と全く関係ない病院に提供していた⁵⁵。このような政府にコントロールされた非営利組織が対応力や自主性を欠いていることは明らかである。しかし、赤十字会はその地位と役割は、その他の非営利組織が代替できるものではなく、寡占・独断状態にあり、また国民が自主的に救援団体を組織すれば、中国の厳しい法律規定に違反する恐れもある⁵⁶。

まず、赤十字会が感染症対策用の医療物資を溜め込んだことは、非営利組織に対する社会の公信力や政府のコントロール力が不十分であるとのイメージを強くさせた。赤十字会は中国政府がコントロ

⁵⁴ 張執中「新冠疫情對中共領導及治理體系之影響評估」中共年報編輯委員會編『中共年報2021』2021年4月、頁16～25。

⁵⁵ 梓鵬「武漢肺炎：在爭議聲中被全民監督的紅十字會」『BBC中文網』2020年2月1日、<https://www.bbc.com/zhongwen/trad/chinese-news-51338241>。

⁵⁶ 朱俊慶「重大危機中的社會組織治理能力提升：以新冠肺炎疫情期間湖北紅十字會為例」『學會』2020年第6期、頁5～10。

ールする二つの慈善事業のうちの一つで、武漢市政府が寄贈された物資や資金は全て武漢赤十字分会を経由させることを堅持したため、全ての支援物資が赤十字会で留め置かれた。このため必要な人の手元に迅速に物資が配分されず、遅延と感染症対策のゴールデンタイムとのギャップを引き起こし、社会イメージと公信力に大きなダメージを与え、義援金や物資を提供した人々が不満や恨みを抱くこととなった。同時に、内部のボランティアもまた、外部からのとどまらない批判を受けて辞退するといった事態も生じた⁵⁷。

赤十字会は中国で最大級の慈善団体で、これが社会の公信力を失ったことで、感染症対策における第三セクターの役割は弱体化した。これまでも中国赤十字会は度重なる不正行為によって公益のイメージを失墜させている。例えば、約 9 万人が不幸にも罹災した 2008 年の四川大地震をめぐって、人々は赤十字会の責任問題と透明性について疑念を抱き、特に義援金と支援物資の公開・透明化を求めた。四川大地震の際には、「千元テント」、「万元テント」が捏造され、2011 年に郭美美事件⁵⁸が勃発すると、指導幹部に高級車をあてがったり、支援物資を転売していた等が暴露され、赤十字会の公益性及び社会責任イメージは失墜した。また、支援物資配分の権力を独占しているメカニズムは、汚職やレントシーキングを生み出しており、これは奇しくも中国の公民社会の不在をも明らかにし

⁵⁷ 楊鈺、張妍「疫情下的『中國製造』與全球採購：抗疫物資都去哪了？」『端傳媒』2020 年 3 月 3 日、<https://theinitium.com/article/20200302-international-coronavirus-protective-suits-made-in-china/>。

⁵⁸ ブロガー「郭美美」が、中国赤十字会商業総経理と称して中国版ツイッター「微博」で自身の贅沢な暮らしぶりについて投稿していたことから、同会への寄付金の流れについて、国民の強い不信感が生まれた。

た⁵⁹。こうした度重なる公共の危機を受け、メディアが一連の問題に関して問題意識の提起、世論の批判、枠組みの整合、国民感情の醸成に役割を發揮し、「社会の口」として機能したことから、赤十字会は外界に様々なマイナスのイメージを与えることになった⁶⁰。

次に、赤十字会による物資配分が実際のニーズに基づかず、特定の病院に便宜を図ったと疑われている点である。赤十字会は自身の役割は、支援物資を受け取って倉庫に搬入し、登録を行うだけであり、具体的な物資配分と配賦は衛生健康委員会及び感染症対策指揮部に委ね、そこがまとめて病院のニーズに応じて配賦していると表明した。2020年1月29日に公表されたデータでは、8000名の医療スタッフを抱える武漢協和医院が受け取ったのは、3000枚の普通マスクと1.2万円の義援金のみである⁶¹。武漢仁愛医院と武漢天佑医院は、それぞれ1.6万枚のN95マスクを受け取ったほか、合わせて36万円の義援金を受け取っており、寄贈者は北京森根比亞生物工程技術有限公司となっている。しかし、武漢仁愛医院は、武漢の発熱外来や指定医院のリストには入っていない。ここから、感染症対策の支援物資を本当に必要としている病院は、逆に支援を受けられず、感染症対策の支援物資を必要としていない病院が、支援に乗じて感染症対策物資を溜め込んでいることが分かる。

赤十字会は医療物資を、規模が比較的小さい病院や非専属病院に流しており、「一部の物資を寄贈者の意向に応じて寄贈する」と

⁵⁹ 袁莉「紅會爭議與救援亂象背後，中國公民社會缺位之痛」、前掲資料。

⁶⁰ 王向民、孔蕭「媒體動員在制度變遷中的角色：以2011年以來的中國紅十字會事件為例」『晉陽學刊』2015年第4期、頁114～122。

⁶¹ 「被指疫情中進行定向捐贈、湖北省紅十字會遭輿論質疑批評」『法國國際廣播電台』2020年1月2日、<https://www.rfi.fr/cn/%E4%B8%AD%E5%9B%BD/20200201->。

いった運用によって、感染症対策物資を新型コロナウイルス感染症と無関係の病院に転送するよう試みた。これは、赤十字会が寄贈者の名義を利用して、特定の病院の便宜を図ろうと転送していたといえ、金権政治の疑いがある。武漢赤十字会が、感染症対策救援物資を配賦せずに溜め込み、第一線で感染症との戦いに携わる医療関係者に対してデマを流したとして非難し、他方で金権政治をしたり、武漢仁愛医院が属する「莆田系」の病院に利益供与していたことは、社会を助けるという慈善機関の崇高なビジョン・使命・目標に反している。

最後は、非営利組織に対する中国共産党体制の問責制度である。「新型拳国体制」では、党員は模範的で手本となる行動を取り、感染症対策の第一線に入り、土壇場で責任を放棄して逃げ出したり、職責に背いたり、悪事を働くことはあってはならない。習近平は「闘争の実践の中で幹部を見極め、判断すべきである。積極的に行動しなかったり不適切な行為をする幹部、仕事に取り組まず、深く携わろうとしない・できない幹部については直ちに責任を追求し、問題が深刻な幹部は免職にする」と述べている⁶²。中国共産党中央規律検査委員会、国家監察委員会は感染症対策とその問責について通達を出し、感染症対策において、責任を引き受けない、仕事に取り組まない、不適切な行いをする、責任逃れ、消極的な対応といった形式主義・官僚主義の問題に対し厳正に調査し、全体的な改善を図ると明確に示した。よって、中国政府は湖北省・武漢市の地方の役人から地方の党指導者に至るまでの責任を追求し、これによって中国共産党の国際的なイメージや政権運営のイメージを守ろうとし

⁶² 「習近平在中央政治局常委會會議研究應對新型冠狀病毒肺炎疫情工作時的講話」『求是』、前掲資料。

た。2020年2月4日、党の役人に対する初の「問責」を公表し、湖北省規律委員会の調査によって、感染症対策期間における支援物資の受け取り及び配賦に関わった省赤十字会公の指導と幹部の不適切な行為に対して「三十一大」規定の違反とし、情報公開ミス等、職務怠慢や業務上過失があったとした⁶³。

『中国共産党問責条例』、『中国共産党規律処分条例』、『行政機関公務員処分条例』等の規定に基づき、中国政府は、指導者ランク第二位にある省赤十字会党組書記・常務副会長の高勤を党内警告処分、同第三位の省赤十字会党組メンバー・専門職副会長を務める張欽を免職及び党内嚴重警告・政務重大過失記録処分、事務所主任で省赤十字会党組メンバーの陳波を党内嚴重警告及び政務重大過失記録処分とした。特に、緊急医療物資の配賦ができなかったとして、常務副会長の張欽を直接免職とした⁶⁴。中国の公民社会組織は、ある種の「受け身」のスタンスで党体制に奉仕する付属物となるべきではなく、公民社会の「自発的な要求」として、自主的な成長力を持って、政府や市場の失敗を補い、社会組織の自主的な発展を通じて国民の民主主義と参与のニーズを満足させていくべきである。むしろ、「新型挙国体制」は感染症対策の中で、迅速な動員力と効率さといった権威主義政治体制の一部の特性を示したが、国は非営利組織を政治ツールとみなし、公民社会組織や個人の意識が健全に成熟するのを妨げている。

⁶³ 梁建強「湖北省紅十字會專職副會長失職失責被免職」『新華網』2020年2月4日、
http://www.xinhuanet.com/politics/2020-02/04/c_1125530316.htm。

⁶⁴ 同上。

五 結論

中国共産党の体制から見れば、「新型挙国体制」は西側諸国の国家ガバナンスの軟弱さ、官僚、効率の悪さといった弱点を効果的に克服することができる。国家の安全保障と社会の発展が深刻な挑戦や危機に直面する際、科学の集約、力の集中、メカニズムの優位化、難題への共同の取組等は明らかにメリットがある。今般の新型コロナウイルス感染症対策において、中国共産党の党体制は、全国の資源を一元化して取りまとめて湖北・武漢を支援し、各レベルの組織や人員を動員して感染症との戦いに一丸となって取り組み、感染症対策に必要な医療機器・感染症対策物資・国民の生活に必要な情報を保障した。新型コロナウイルス感染症に対し、中国は効果的なガバナンスメカニズムで、問題解決と成果を強調し、問題にフォーカスして全力で取り組み、その成果については厳格に精査し、職務怠慢については責任を問うことで、明らかに感染症対策の効率を向上させた。

グローバル社会で起きている社会団体の革命的動向、ガバナンス、善良なガバナンス理念の提唱に伴って、非政府組織はまさに公共危機ガバナンスの重要なアクターであり、協力の力となっている。公共の危機に対し、多元的な共同ガバナンスを実現するなら、政府と非政府組織は協力的なパートナー関係を構築し、良好なインターアクションメカニズムを築く必要がある。つまり、制度的な欠陥を克服し、非政府組織が公共の危機のガバナンスに参加してサポートし、危機の確実な解決にむけて、非政府組織内に整備された緊急対応メカニズムを構築することである⁶⁵。第三セクターには民間

⁶⁵ 徐祖榮「治理與善治語境下公共危機的多元共治模式」『華東理工大學學報（社會科

性、専門性、ボランティア性といった特徴があり、公共の危機を処理する上では、特殊な優位性を具えている。中国社会は幾度もの公共の危機をガバナンスする中で、第三セクターが参与できていないことを十分に示してきた⁶⁶。本論のケーススタディーによる分析では、中国の第三セクターの発展は不十分である上に、バランスを欠いたものであり、新型コロナウイルス感染症の危機管理ガバナンスに第三セクターが参与するにあたっては、法律、社会環境、国民意識、資金・人材等の制約を受けるため、その自主性やイノベーションさはいずれも乏しいことが明らかになった。

「新型挙国体制」下では、中国政府は「一枚岩」で効果的に運動式のガバナンスを実行したが、公民社会の自主的な発展を犠牲にする対価を払った。公共衛生緊急管理において、赤十字会は社会組織として、政府と国民に委託される法定の職責を果たすべきだが、第二の政府として高度に行政化された役割を担い、また機構の能力不足といった問題もあって、国民の信頼を失墜させる危機に陥った。湖北省赤十字会の社会組織のガバナンス能力は依然として不十分なため、構造転換の促進、組織枠組の優位化、ビジネスプロセス・リエンジニアリングの推進によって、社会組織の自主的なガバナンス力を向上させることが鍵になる。同時に、社会組織は深刻な危機に対しては様々な主体と協力して共にガバナンスしていくことが求められるため、自身のイメージ作りも重視すべきで、そうしてこそ成功と言える⁶⁷。

学版)』第23卷3期(2008年9月)、頁74~80。

⁶⁶ 林杭鋒「我國公共危機治理中的第三部門參與問題研究」『柳州職業技術學院學報』2011年第6期、頁6~9。

⁶⁷ 朱俊慶「重大危機中の社會組織治理能力提升：以新冠肺炎疫情期間湖北紅十字會為例」、前掲資料。

中国社会における非営利組織や第三セクターは、本来であれば新型コロナウイルス感染症対策の中で、より積極的に機能し、役割を發揮できるはずだった。こうした社会グループは一旦、自主的なガバナンスの役割を具えれば、国家全能主義の「専制的なパワー」という特質を転換しやすくなり、中国共産党体制や縁故資本主義の結びつきを超えて、自由で民主的な社会の発展となる契機や光をもたらすことができる。さらに、これは国家の「基礎力」向上にとってもプラスであり、政府と公民社会のコミュニケーションや話し合いを促進し、国家と社会の「両者を強くする」関係を生み出すことにも繋がる。今般の新型コロナウイルス感染症対策ガバナンスが依然として「トップダウン」の垂直モデルで、これにより挙国体制の動員力を明らかにしたことは間違いない。しかし、これはまた公民社会の組織の弱体化をも見せつけた。つまり、新型コロナウイルス感染症対策における「新型挙国体制」は、ある程度のレベルや意義においては効果的なガバナンスを行ったが、公民社会の自主的な発展を犠牲にする対価を払い、そのガバナンスにおいて、非営利組織の積極的な役割やプラスの効果は低下したと結論づけることができる。

(寄稿：2022年2月18日、採用：2022年5月21日)

翻訳：渥美すが子（フリーランス翻訳）

中國「新型舉國體制」運作下新冠疫情 治理：內涵、成效與侷限性

柳金財

(佛光大學公共事務學系副教授)

【摘要】

本文目的旨在探討「新型舉國體制」之概念內涵、特性及制度侷限性，並以中國紅十字會在新冠疫情中的運作做為案例探討，進而分析非營利組織在「新型舉國體制」下的自主性發展及其限制。本文探討重點如下：首先是探討「新型舉國體制」之內涵、發展及其運作下新冠疫情治理之特性；其次，分析「新型舉國體制」下新冠疫情治理及其侷限性；再者，進一步分析「新型舉國體制」運作下羸弱的非營利組織之發展。最後則是提出結論。本文初步研究觀點是「新型舉國體制」運作具有「雙面刃效應」，因權力及資源集中化，固然可有效提升疫情治理績效；但此卻加深威權體制僵固化，不利於中國公民社會及第三部門社會組織自主性發展。中國紅十字會在組織形式上屬非政府組織，實質上為政府組織之附屬機構、派出機構，猶如「第二政府」。此體制運作因過度強調黨國威權統治及集權化，不利於非營利組織之自主性及創新性成長。

關鍵字：新型舉國體制、中國紅十字會、非營利組織、第二政府

COVID-19 Governance under the Operation of China's “New National System”: Connotation, Effectiveness, and Limitations

Chin-tsai Liu

Associate Professor, Department of Public Affairs, Fo Guang University

【Abstract】

The purpose of this paper is to explore the conceptual connotation, characteristics and institutional limitations of the “new national system”, to discuss the operation of the Red Cross Society of China during the COVID-19 governance as a case study, and then to analyze the autonomy of non-profit organizations in the “new national system” development and its limitations. The focus of this paper are: Firstly, the connotation, development, characteristics of the “new national system”; Secondly, the limitations of the “new national system” under the COVID-19 governance; Thirdly, it further analyzes the development of non-profit organizations under the operation of the “new national system”. The last part is the conclusion. The preliminary research point of this paper is that the operation of the “new national system” has a “double-edged effect”. Due to the centralization of power and resources, it can effectively improve the performance of epidemic control; but this deepens the rigidity of the authoritarian system, which is not conducive to Chinese civil society and the independent development of social organizations in the three sectors. The Red Cross Society of China is a non-governmental organization in its organizational form, and is essentially a subsidiary or dispatched agency of a government organization, very much like a “second government”. The operation of this system overemphasizes

the authoritarian rule and centralization of the party-state, which is not conducive to the independent and innovative growth of non-profit organizations.

Keywords: New National System, Red Cross Society of China, Non-Profit Organization, Second Government

〈参考文献〉

- 「中國地方官員為何頻頻過度防疫？」『端傳媒』2021年11月18日、<https://theinitium.com/article/20211117-mainland-accountability-officials-covid/>。
- “Zhongguo difang guanyuan weihe pinpin guodu fangyi?” [Why were the Chinese Local Officials Doing Epidemic Preventions Excessively], *Initium Media*, November 18, 2021.
- 「中國紅十字會 2020 年動員逾 39 萬志願者助力疫情防控」『中國新聞網』2021 年 2 月 5 日、<https://www.chinanews.com.cn/gn/2021/02-05/9405796.shtml>。
- “Zhongguo hongshizihui 2020 nian dongyuan yu 39 wan zhiyuanzhe zhuli yiqing fangkong” [In 2020, Red Cross Society of China Mobilized More Than 39 Hundred Thousand Volunteers for Epidemic Prevention and Control], *China News*, February 5, 2021.
- 「武漢一週年：新冠疫情受控背後中國的『制度優勢』與個體代價」『BBC 中文網』2020 年 12 月 29 日、<https://www.bbc.com/zhongwen/trad/chinese-news-55446341>。
- “Wuhan yizhou nian: Xinguan yiqing shoukong beihou zhongguo de ‘zhidu youshi’ yu geti daijia” [Wuhan's First Anniversary: China's "Institutional Advantages" and Individual Costs behind the Control of COVID Epidemic], *BBC News Chinese ed.*, December 29, 2020.
- 「重大改革！習近平連提 15 個體系 9 種機制 4 項制度」『新華網』2020 年 2 月 15 日、http://www.xinhuanet.com/politics/xxjxs/2020-02/15/c_1125578387.htm。
- “Zhongda gaige! Xijiping lianti 15 ge tixi 9 zhong jizhi 4 xiang zhidu” [Major Reforms! Xi Jinping Proposes 15 Systems, 9 Mechanisms, and 4 Systems], *Xinhuanet*, February 15, 2020.
- 「被指疫情中進行定向捐贈、湖北省紅十字會遭輿論質疑批評」『法國國際廣播電台』2020 年 1 月 2 日、<https://www.rfi.fr/cn/%E4%B8%AD%E5%9B%BD/20200201->。
- “Beizhi yiqingzhong jinxing dingxiang juanzeng, hubeisheng hongshizihui zao yulun zhiyi piping” [Being Accused of Making Targeted Donations during the Epidemic, the Red Cross Society of China Hubei Branch was Questioned and Criticized by the Media], *RFI*, January 2, 2020.
- 「習近平在中央政治局常委會會議研究應對新型冠狀病毒肺炎疫情工作時的講話」『求是』2020 年 2 月 15 日、<http://cpc.people.com.cn/BIG5/n1/2020/0215/c64094-31588554.html>。
- “Xijiping zai zhongyang zhengzhiju changweihui huiyi yanjiu yingdui xinxing guan Zhuang bingdu feiyan yiqing gongzuoshi de jianghua” [Xi Jinping's Speech Delivered at the Meeting of Politburo Standing Committee on the Research of Responding to COVID Epidemic], *Qiushi*, February 15, 2020.
- 八貓「清零政治化：爲何防疫手段越高超、中國的防疫管理却越粗暴」『端傳媒』2021 年 11 月 18 日、<https://theinitium.com/article/20211118-opinion-china-local-government-variation/>。
- Ba Mao, “Qingling zhengzhihua: Weihe fangyi shouduan yue gaochao, zhongguo de fangyi

- guanli que yue cubao” [The Politization of Zero-COVID: Why the More Superior the Anti-Epidemic Measure, the More Brutal the Anti-Epidemic Management], *Initium Media*, November 18, 2021.
- 于鵬飛「習近平會見探月工程嫦娥四號任務參研參試人員代表」『央視新聞』2019年2月20日、<https://news.sina.com.cn/c/xl/2019-02-20/doc-ihfrqzka7632727.shtml>。
- Yu, Peng-fei “Xi Jinping huijian tanyue gongcheng changhe sihao renwu canyan canshi renyuan daibiao” [Xi Jinping Met Research and Participate Representatives From Chang’e 4 Lunar Exploration Program], *CCTV*, February 20, 2019.
- 中央黨校（國家行政學院）習近平新時代中國特色社會主義思想研究中心「完善關鍵核心技术攻關的新型舉國體制」『光明日報』2020年3月20日、<http://theory.people.com.cn/BIG5/n1/2020/0320/c40531-31640512.html>。
- Party School of the Central Committee of CPC (National Academy of Governance) Research Center for Xi Jinping Thought on Socialism with Chinese Characteristics for a New Era, “Wanshan guanjian hexin jishu gongguan de xinxing juguo tizhi” [Strengthen the New Strategy of Pooling Nationwide Resources for Breakthroughs in Core Technologies], *Guang Ming Daily*, March 20, 2020.
- 王向民、孔蕭「媒體動員在制度變遷中的角色：以2011年以來的中國紅十字會事件為例」『晉陽學刊』2015年第4期、頁114~122。
- Wang, Xiang-min, Kong, Xiao, “Meiti dongyuan zai zhidu bianqian zhong de juese: Yi 2011 nian yilai de zhongguo hongshizihui shijian weil” [The Role of Media Mobilization in Institutional Changes: A Case Study of the Red Cross Society of China since 2011], *Academic Journal of Jinyang*, No.4, 2015, pp.114-122.
- 朱俊慶「重大危機中的社會組織治理能力提升：以新冠肺炎疫情期間湖北紅十字會為例」『學會』2020年第6期、頁5~10。
- Zhu, Jun-qing “Zhongda weiji zhong de shehui zuzhi zhili nengli tisheng: Yi xinguan feiyan yiqing qijian hubei hongshizihui weil” [The Improvement of Social Organizations’ Governance Ability in Major Crisis: A Case Study of the Red Cross Society of China Hubei Branch during the COVID-19 Epidemic], *Xuehui*, No.6, 2020, pp.5-10.
- 朱媛媛「論非營利組織在公共危機治理中的作用」『淮海工學院學報（社會科學版）』第10卷14期（2012年7月）、頁97~100。
- Zhu, Yuan-yuan “Lun feiyingli zuzhi zai gonggong weiji zhili zhong de zuoyong” [Role of Non-profit Organizations in Governance of Public Crisis], *Journal of Huaihai Institute of Technology*, Vol.10 No.14, July 2012, pp.97-100.
- 吳怡「中國再出發 對話樊綱：善用新型舉國體制、打好科技創新『殲滅戰』」『澎湃新聞』2021年12月25日、https://m.thepaper.cn/newsDetail_forward_15995861。
- Wu, Yi, “Zhongguo zai chufa duihua fangang: Shanyong xinxing juguo tizhi, dahao keji chuanguangxin ‘jianmiezhanshan’” [Restarting China; Dialogue with Fan Gang: Make Good Use of New National System, and Win the “War of Annihilation” in Technology Innovation], *The Paper*, December 25, 2021.

吳靈「多中心理論視角下的危機治理」『重慶科技學院學報（社會科學版）』第 5 期（2009 年 5 月）、頁 67~68。

Wu, ling, “Duo zhongxin lilun shijiaoxia de weiji zhili” [Crisis Governance from the Perspective of Polycentric Theory], *Journal of Chongqing University of Science and Technology (Social Sciences Edition)*, No.5, May 2009, pp.67-68.

何立勝「健全新型舉國體制提升創新能力」『經濟日報』2021 年 1 月 19 日、<http://theory.people.com.cn/BIG5/n1/2021/0119/c40531-32003866.html>。

He, Li-sheng, “Jianquan xinxing juguo tizhi tisheng chuangxin nengli” [Improve the New National System to Enhance Innovation Capabilities], *Economic Daily News*, January 19, 2021.

何虎生「發揮新型舉國體制優勢」『學習時報』2021 年 5 月 20 日、<http://newera.ruc.edu.cn/ktcg/bkwz/ae568261616947608cddb00212b6344e.htm>。

He, Hu-sheng “Fahui xinxing juguo tizhi youshi” [Maximizing the Advantages of the New National System], *Studytimes.cn*, May 20, 2021.

李晶「中央應對新型冠狀病毒感染肺炎疫情工作領導小組會議召開」『新華社』2020 年 1 月 27 日、http://www.mod.gov.cn/big5/topnews/2020-01/27/content_4859098.htm。

Li, Jing, “Zhongyang yingdui xinxing guanzhuang bingdu ganran feiyan yiqing gongzuo lingdao xiaozu huiyi zhaokai” [The Central Leading Group for COVID-19 Prevention and Control Meeting has Held], *Xinhuanet*, January 27, 2020.

邱國強「習近平：生物科技要自己掌握、用舉國體制突破技術」『中央通訊社』2020 年 9 月 15 日、<https://www.cna.com.tw/news/acn/202009150315.aspx>。

Qiu, Guo-qiang, “Xijinping: Shengwu keji yao ziji zhangwo, yong juguo tizhi tupo jishu” [Xi Jinping: Biotechnology has to be Hold by Ourselves, and Use National System to Achieve Technology Breakthroughs], *CNA*, September 15, 2020.

林祖偉、何桂藍「汶川地震十年系列：公民社會從爆發到沉寂的艱難之路」『BBC 中文網』2018 年 5 月 7 日、<https://www.bbc.com/zhongwen/trad/chinese-news-43972586>。

Lin, Zu-wei, He, Gui-lan, “Wenchuan dizhen shinian xilie: Gongmin shehui cong baofa dao chenji de jiannan zhi lu” [Tenth Anniversary of the Wunchuan Earthquake Series: the Civil Society’s Hard Road from Outbreak to Silence], *BBC News Chinese ed.*, May 7, 2018.

林杭鋒「我國公共危機治理中的第三部門參與問題研究」『柳州職業技術學院學報』2011 年第 6 期、頁 6~9。

Lin, Hang-feng, “Woguo gonggong weiji zhili zhong de disan bumen canyu wenti yanjiu” [Analysis of the Public Crisis Management in the Involvement of the NGO], *Journal of Liuzhou Vocational & Technical College*, No.6, 2011, pp.6-9.

周曉麗「論公共危機的複合治理」『長春市委黨校學報』第 3 期（2006 年 6 月）、頁 59~62。

Zhou, Xiao-li, “Lun gonggong weiji de fuhe zhili” [On the Compound Public Crisis

Management], *Journal of the Party School of CPC Changchun Municipal Committee*, No.3, June 2006, pp.59-62.

柳金財「新冠疫情下中國大陸地方治理變異：以大理徵用重慶口罩為例」『展望與探索』第18卷第9期（2020年9月）、頁61～75。

Liu, Chin-tsai, “Xinguan yiqing xia zhongguo dalu difang zhili bianyi: Yi dali zhengyong chongqing kouzhaowei li” [Local Governance Variations under COVID-19 in Mainland China: Taking Dali’s Requisition of Chongqing Masks as an Example], *Prospect and Exploration*, Vol.18 No.9, September 2020, pp.61-75.

侯露露、任皓宇「以人類命運共同體理念促進全球抗疫合作」『人民網』2020年5月19日、<http://ydyf.people.com.cn/BIG5/n1/2020/0519/c411837-31714669.html>。

Hou, Lu-lu, Ren, Hao-yu, “Yi renlei mingyun gongtongti linian cujin quanqiu kang yi hezuo” [Promote Global Anti-Epidemic Cooperation with the Concept of the Common future of the Mankind’s Community], *People’s Daily Online*, May 19, 2020.

時方「李克強首開應對疫情領導小組會泄多個秘密」『阿波羅新聞網』2020年1月27日、<https://tw.aboluowang.com/2020/0127/1401545.html>。

Shi, Fang, “Likeqiang shoukai yingdui yiqing lingdao xiaozuhui xie duo ge mimi” [Several Secrets were Revealed by Li Keqiang in the First Central Leading Group for COVID-19 Prevention and Control Meeting], *Aboluowang*, January 27, 2020.

徐祖榮「治理與善治語境下公共危機的多元共治模式」『華東理工大學學報（社會科學版）』第23卷3期（2008年9月）、頁74～80。

Xu, Zu-rong, “Zhili yu shanzhi yujingxia gonggong wei ji de duoyuan gong zhi moshi” [The Non-Governmental Organizations Participates In The Theory Which And The Reality Analysis The Public Crisis Governs], *Journal of East China University of Science and Technology (Social Science Edition)*, Vol.23 No.3, September 2008, pp.74-80.

袁莉「紅會爭議與救援亂象背後、中國公民社會缺位之痛」『紐約時報中文網』2020年2月19日、<https://cn.nytimes.com/china/20200219/china-coronavirus-charity-supplies/zh-hant/>。

Yuan, Li, “Honghui zhengyi yu jiuyuan luan xiang bei hou, zhongguo gongmin shehui ke wei zhi tong” [In Coronavirus Fight, China Sidelines an Ally: Its Own People], *The New York Times Chinese*, February 19, 2020.

孫春蘭「深入貫徹習近平總書記重要指示精神、全面加強疫情防控第一綫工作指導督導」『求是』2020年4月1日、http://www.gov.cn/guowuyuan/2020-04/01/content_5497826.htm。

Sun, Chun-lan, “Shenru guan che xijin ping zongshuji zhongyao zhishi jingshen, quanmian jiaqiang yiqing fangkong diyixian gongzuo zhidao dudao” [Thoroughly Implement the Spirit of General Secretary Xi Jinping’s Important Instructions, and Comprehensively Strengthen the Guidance and Supervision of the Front-line Work of Epidemic Prevention and Control], *Qiushi*, April 1, 2020.

徐峰「公共危機治理中的民主價值重構」『淮陰師範學院學報（哲學社會科學版）』第

32 卷 3 期 (2010 年 5 月)、頁 358~361。

Xu, Feng, “Gonggong weiji zhili zhong de minzhu jiazhi zhonggou” [Reconstructing the Value of Democracy in the Public Crisis Management], *Journal of Huaiyin Teachers College Social Sciences Edition*, Vol.32 No.3, May 2010, pp.358-361.

郭輝、楊喬強「我國紅十字會治理體系和治理能力之現代化」『保定學院學報』第 34 卷第 2 期 (2021 年 3 月)、頁 68~72。

Guo, Hui, Yang, Qiao-qiang, “Woguo hongshizihui zhili tixi he zhili nengli zhi xiandaihua” [Modernization of Red Cross Governance System and Governance Capacity of China], *Journal of Baoding University*, Vol.34 No.2, March 2021, pp.68-72.

麥笛文「新冠疫情：多國選擇『與病毒共存』 為什麼中國仍堅持『清零』」『BBC 中文網』2021 年 11 月 16 日、<https://www.bbc.com/zhongwen/trad/chinese-news-59288673>。

Mai, Di-wen “Xinguan yiqing: Duoguo xuanze ‘yu bingdu gongcun’ weisheme zhongguo reng jianchi ‘qingling’” [Why China is still trying to achieve zero Covid], *BBC News Chinese ed.*, November 16, 2021.

梁建強「湖北省紅十字會專職副會長失職失責被免職」『新華網』2020 年 2 月 4 日、http://www.xinhuanet.com/politics/2020-02/04/c_1125530316.htm。

Liang, Jian-qiang, “Hubeisheng hongshizihui zhuanzhi fuhuizhang shizhi shize bei mianzhi” [The Full-Time Vice President of the Red Cross Society of China Hubei Branch was Dismissed for his Dereliction of Duty], *Xinhuanet*, February 4 2020.

清華大學教育基金會「習近平考察調研清華大學新冠肺炎防控科研攻關工作」『清華大學新聞網』2020 年 3 月 2 日、<http://www.tuef.tsinghua.edu.cn/info/xwtdt/4107>。

Tsinghua University Education Foundation, “Xijiping kaocha diaoyan qinghua daxue xinguan feiyan fangkong keyan gongguan gongzuo” [Xi Jinping Investigates and Researches COVID Prevention and Control Problem-Tackling Research Work Conducted by Tsinghua University], *Tsinghua University News*, March 2, 2020.

梓鵬「武漢肺炎：在爭議聲中被全民監督的紅十字會」『BBC 中文網』2020 年 2 月 1 日、<https://www.bbc.com/zhongwen/trad/chinese-news-51338241>。

Zi, Peng, “Wuhan feiyan: Zai zhengyi sheng zhong bei quanmin jiandu de hongshizihui” [COVID-19: The Red Cross Society of China Supervised by the People in the Controversy], *BBC News Chinese ed.*, February 1, 2020.

張斌「確保疫情防控與復工複產兩不誤」『經濟日報』2020 年 3 月 13 日、https://theory.gmw.cn/2020-03/13/content_33646018.htm。

Zhang, Bin, “Quebao yiqing fangkong yu fugong fuchan liang buwu” [Ensuring the Pandemic Prevention and Control, and Having No Delays on Both Work-Returning and Production-Restoring], *Economic Daily News*, March 13, 2020.

張執中「舉國體制：新冠疫情初期中國大陸中央與地方防疫措施之連動」銘傳大學兩岸研究中心、中共研究雜誌、展望與探索雜誌等編『「後新冠疫情下國際與臺海形勢」學術研討會論文集』（新北：中共研究雜誌社、展望與探索雜誌社、2020 年

12月)、頁69~87。

Chang, Chih-Chung, “Juguo tizhi: Xinguan yiqing chuqi zhongguo dalu zhongyang yu difang fangyi cuoshi zhi liandong” [The National System: The Linkage between Central and Local Governments’ Epidemic Prevention Measures in Mainland China in the Early Stage of the COVID Epidemic], Ming Chuan University Cross-Strait Research Center, Zhonggong yanjiu zazhishe, Zhanwang yu tansuo zazhishe, eds., ‘*Hou xinguan yiqing xia guoji yu taihai xingshi’ xueshu yantaohui lunwenji*” [The International and cross-Strait Posture in the Post-COVID Era], (New Taipei: Zhonggong yanjiu zazhishe, Zhanwang yu tansuo zazhishe, December 2020), pp.69-87.

張執中「新冠疫情對中共領導及治理體系之影響評估」中共年報編輯委員會編『中共年報2021』2021年4月、頁16~25。

Chang, Chih-Chung, “Xinguan yiqing dui zhonggong lingdao ji zhili tixi zhi yingxiang pinggu” [The Evaluation of Impacts on the Communist China’s Leadership and Governance System in the COVID Epidemic], Yearbook on Chinese Communism Editorial Committee, ed., 2021” 2021 Yearbook on Chinese communism, April 2021, pp.16-25.

張潔平「極權中國、防疫為何失靈？病毒肆虐背後、中共的謊言與失能」『天下雜誌』第691期(2020年2月10日)、<https://www.cw.com.tw/article/5098914>。

Zhang, Jie-ping, “Jiquan zhongguo, fangyi weihe shiling? Bingdu sinue beihou, zhonggong de huangyan yu shineng” [Why does the Anti-epidemic Measures Fail in the Totalitarian China? The Communist China’s Lies and Disfunctions behind the Corona Virus], *Commonwealth Magazine*, No.691 (February 10, 2020).

曾玉婷「中國紅十字會引爆民怨：防疫物資流向不明、前綫醫護公開求援」『臺灣公民對話協會網』2020年6月18日、<https://rightplus.org/2020/06/18/china-red-cross-org/>。

Ceng, Yu-ting, “Zhongguo hongshizihui yinbao minyuan: Fangyi wuzi liuxiang buming, qianxian yihu gongkai qiuyuan” [The Red Cross Society of China Detonates Public Grievances: The Flow of Anti-Epidemic Materials is Unknown, and the Frontline Medical Nurses Openly Ask for Help], *Right Plus*, June 18, 2020.

董璐「『這份之不易』彰顯中國制度優勢」『新華網』2020年5月11日、http://www.xinhuanet.com/politics/xxjxs/2020-05/11/c_1125963165.htm。

Dong, Lu, “‘‘Zhefen zhi buyi’’ zhangxian zhongguo zhidu youshi” [“This Hard to Come By” has Demonstrated Advantages of China’s System], *Xinhuanet*, May 11, 2020.

新華社「中央政治局常委會：要發揮新型舉國體制優勢、加強科技創新和技術攻關」『第一財經網』2020年5月14日、<https://www.yicai.com/news/100629979.html>。

Xinhua News Agency, “Zhongyang zhengzhiju changweihui: Yao fahui xinxing juguo tizhi youshi, jiaqiang keji chuangxin he jishu gongguan” [Politburo Standing Committee: Maximizing the Advantages of New National System, and Enhancing Technology Innovation and Technological Problem-Tackling], *YICAI*, May 14, 2020,

楊鈺、張妍「疫情下的『中國製造』與全球採購：抗疫物資都去哪了？」『端傳媒』

- 2020年3月3日、<https://theinitium.com/article/20200302-international-coronavirus-protective-suits-made-in-china/>。
- Yang, Yu, Zhang, Yan, “Yiqingxia de ‘zhongguo zhizao’ yu quanqiu caigou: Kang yi wuzi dou qu nale?” [“Made in China” in the Epidemic and the Global Sourcing: Where Have the Anti-Epidemic Materials Gone?], *Initium Media*, March 3, 2020.
- 楊開煌「『新冠肺炎疫情』vs.『新型舉國體制』」『海峽評論』352期(2020年4月)、頁18~22。
- Yang, Kai-huang, “‘Xinguan feiyan yiqing’ vs. ‘Xinxing juguo tizhi’” [“COVID-19 Epidemic” vs. “New National System”], *Straits Review Monthly*, No.352, April 2020, pp.18-22.
- 趙宏「法治的細節『未經授權不得披露』背後的信息公開制度與問題」『澎湃新聞』2020年1月31日、<https://j.eastday.com/p/1580453284016517>。
- Zhao, Hong, “Fazhi de xijie ‘wei jing shouquan bude pilu’ beihou de xinxi gongkai zhidu yu wenti” [Details of the Rule of the Law: The Information Opening System and Problems behind “Do Not Disclose Without Authorization”], *The Paper*, January 31, 2020.
- 鄭慧、李學「權責體系、日常治理與地方政府危機管理能力建構：基於河南陝縣礦難事件的個案分析」『湖南大學學報(社會科學版)』第24卷第3期(2010年5月)、頁66~69。
- Zheng, Hui, Li, Xue, “Quan ze tixi, richang zhili yu difang zhengfu weiji guanli nengli jiangou: Jiyu henanshanxian kuangan shijian de gean fenxi” [System of Power and Responsibility, Routine Governance and the Crisis Management Ability Construction of Local Government: A Case Study based on the Mining Accident in Shan County, Henan Province], *Journal of Hunan University (Social Sciences)*, Vol.24, No.3, May 2010, pp.66-69.
- 劉垠「新型舉國體制『新』意何在：專家詳解習近平總書記有關重要指示精神」『科技日報』2020年5月18日、<http://scitech.people.com.cn/BIG5/n1/2020/0518/c1007-31712918.html>。
- Liu, Yin, “Xinxing juguo tizhi ‘xin’ yi hezai: Zhuanjia xiangjie xijinping zongshuji youguan zhongyao zhishi jingshen” [What is the “New” Meaning in the New National System: Experts’ Interpretation on General Secretary Xi Jinping’s Sprits of Import Instructions], *Science and Technology Daily*, May 18, 2020.
- 劉霞、向良雲、嚴曉「公共危機治理網絡：框架與戰略」『軟科學』第23卷4期(2009年4月)、頁1~6。
- Liu, Xia, Xiang, Liang-yun, Yan, Xiao, “Gonggong weiji zhili wangluo: Kuangjia yu zhanlue” [The Public Crisis Network Governance: Framework and Strategy], *Soft Science (RUAN KEXUE)*, Vol.23 No.4, April 2009, pp.1-6.
- 劉霞、嚴曉「公共危機治理網絡視閥下的政府間關係」『雲南社會科學』第6期(2009年11月)、頁28~32。
- Liu-Xia, Yan, Xiao, “Gonggong weiji zhili wangluo shiyuxia de zhengfu jian guanxi” [Inter-

governmental Relation in the Light of Administration Network for Public Crisis], *Social Sciences in Yunnan*, No.6, November 2009, pp.28-32.

穆堯「近思錄：『惡貫滿盈』紅十字會 為什麼屹立不倒？」『香港01』2020年2月3日、<https://www.hk01.com/>。

Mu, Yao, “Jinsilu: ‘Eguanmanyong’ hongshizihui weisheme yili budao?” [Recent Thoughts: Red Cross Society’s “Full of Evil.” Why is it Firm-Standing?], *HK01*, February 3, 2020.

燕繼榮「新冠肺炎疫情防控與中國治理效能」『北京大學中國政治學研究中心網』2020年12月12日、<https://www.rccp.pku.edu.cn/mzyt/124384.htm>。

Yan, Ji-rong “Xinguan feiyan yiqing fangkong yu zhongguo zhili xiaoneng” [Fighting COVID-19 and the Effectiveness of Chinese Governance], *PKU Research Center for Chinese Politics*, December 12, 2020.

鍾富國「中國運用『新型舉國體制』推動半導體研發創新的觀察」『ITIS智網』2021年9月8日、https://www2.itis.org.tw/netreport/NetReport_Detail.aspx?rpno=659202548。

Zhong, Fu-guo, “Zhongguo yunyong ‘xinxing juguo tizhi’ tuidong bandaoti yanfa chuangxin de guancha” [Observations on China’s Making Use of “New National System” to Promote Innovation of Semi-Conductor Researching and Developing], *ITIS Zhiwang*, September 8, 2021.

聶曉偉「疫情防控科研攻關發揮好新型舉國體制作用」『學習時報』2020年3月11日、<http://theory.people.com.cn/BIG5/n1/2020/0311/c40531-31626624.html>。

Nie, Xiao-wei, “Yiqing fangkong keyan gongguan fahui hao xinxing juguo tizhi zuoyong” [Doing Epidemic Prevention and Control Research to Tackle Key Problems in order to Maximize the Functions of National New System], *Studytimes.cn*, March 11, 2020.

羅四鵠「周雪光專訪：新冠疫情暴露『剛性』體制弊端」『BBC中文網』2020年3月3日、<https://www.bbc.com/zhongwen/trad/chinese-news-51703169>。

Luo, Si-ling “Zhouxueguang zhuanfang: Xinguan yiqing baolu ‘gangxing’ tizhi biduan” [Interview with Zhou Xueguang: the COVID has Exposed the Shortcomings of the “Rigid” System], *BBC News Chinese ed.*, March 3, 2020.

